

2019年10月期 決算説明会

2019年12月20日

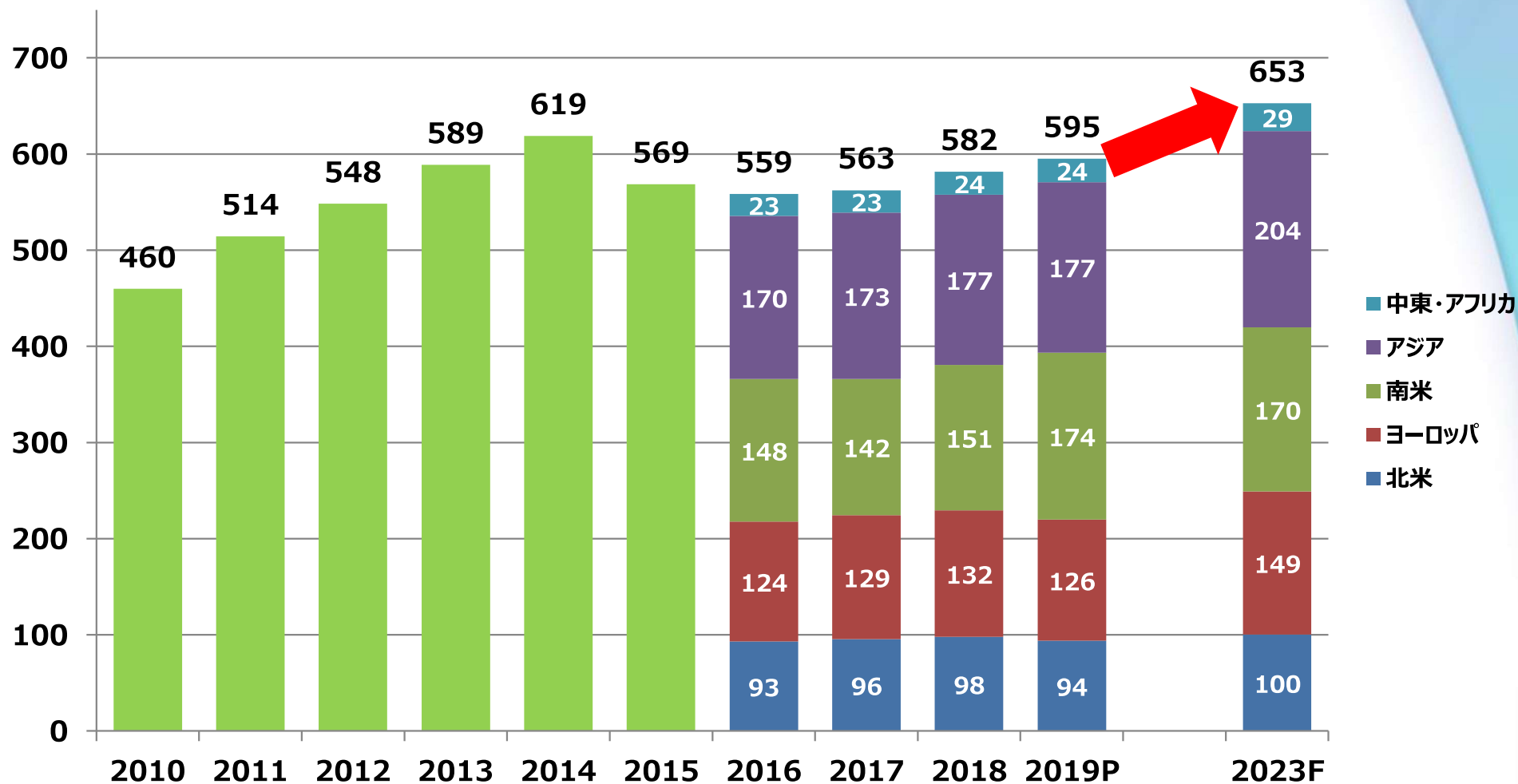
 **クミアイ化学工業株式会社**

本日のアジェンダ

- I. 市場環境
- II. 2019年10月期 実績
- III. 2020年10月期 業績予想
- IV. 中期経営計画について
- V. 今後の成長戦略
- VI. その他の取り組み

農薬市場の動向

(億ドル)



- ✓ 国内市場は3,300億円前後で横ばい
- ✓ 世界市場は2016年を境に回復基調

出典 : Agbioinvestor

- I. 市場環境
- II. 2019年10月期 実績**
- III. 2020年10月期 業績予想
- IV. 中期経営計画について
- V. 今後の成長戦略
- VI. その他の取り組み

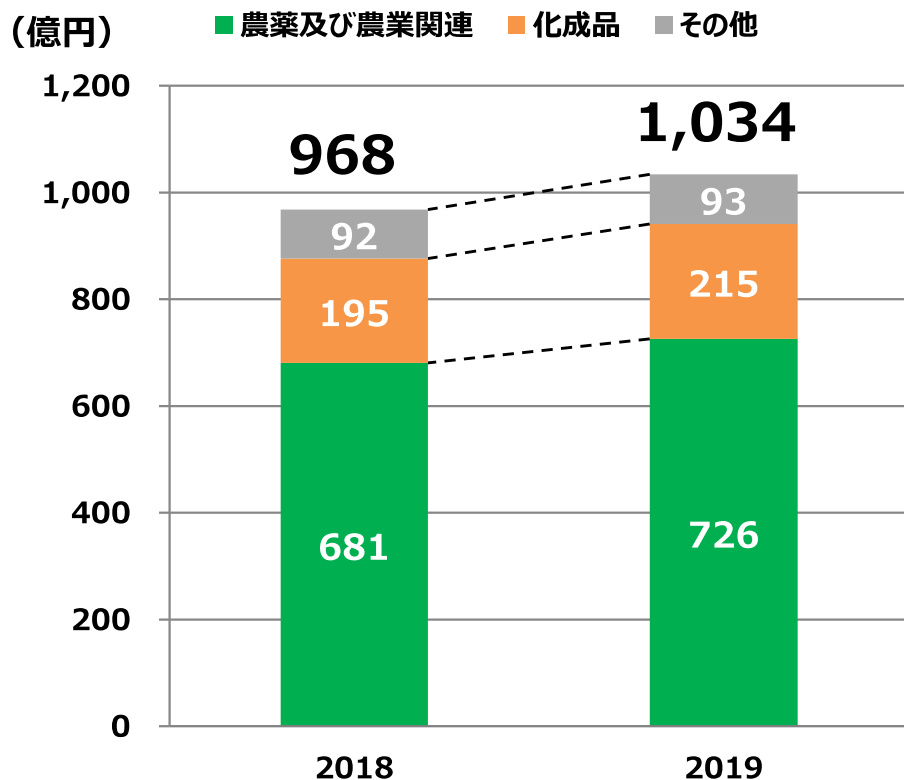
2019年10月期 連結業績

(億円)	2018	2019 業績予想	2019 実績	前年比 (増減率)	予想比
売上高	968	1,070	1,034	+66 (+7%)	-36
営業利益	56	61	76	+21 (+37%)	+15
経常利益	81	81	97	+17 (+21%)	+16
当期 純利益*1	47	56	68	+21 (+44%)	+12

*1親会社株主に帰属する当期純利益

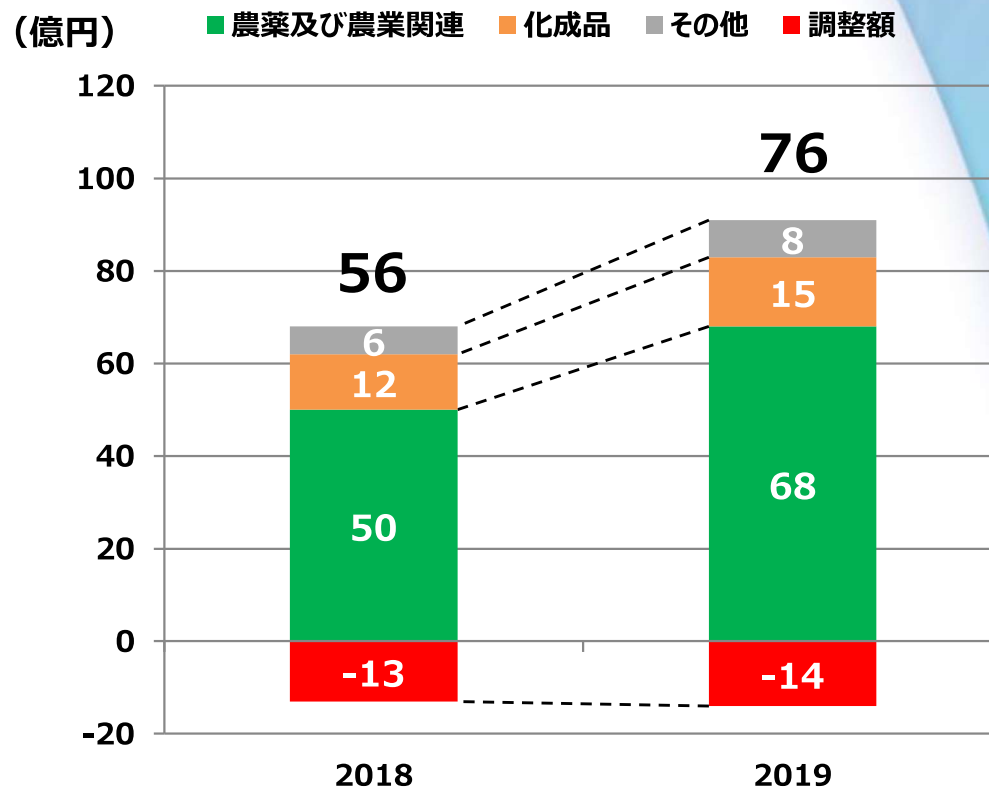
セグメント別売上高及び営業利益

連結売上高



農薬及び農業関連 +45億円 (7%UP)
 化成品 +20億円 (10%UP)
 その他 +1億円 (1%up)

連結営業利益

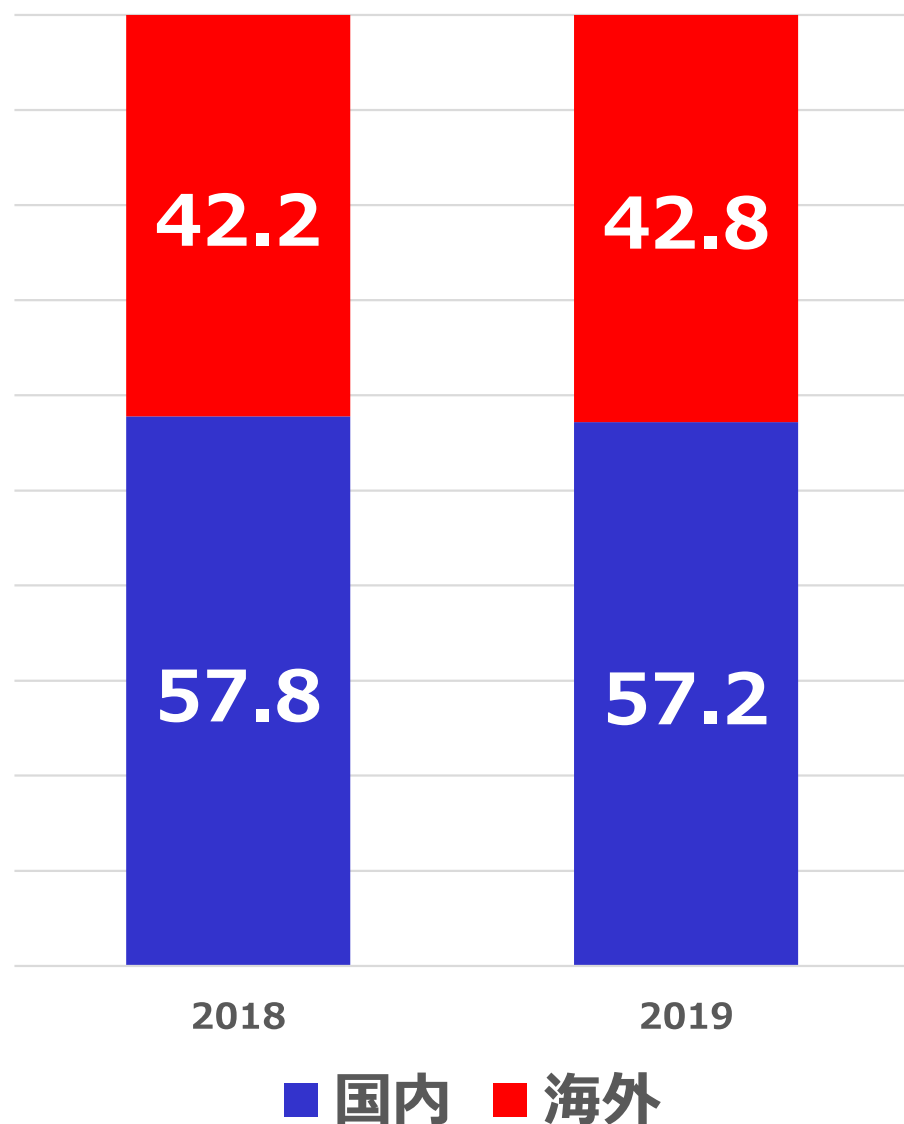


農薬及び農業関連 +18億円 (36%UP)
 化成品 +2億円 (18%UP)
 その他 +2億円 (38%UP)

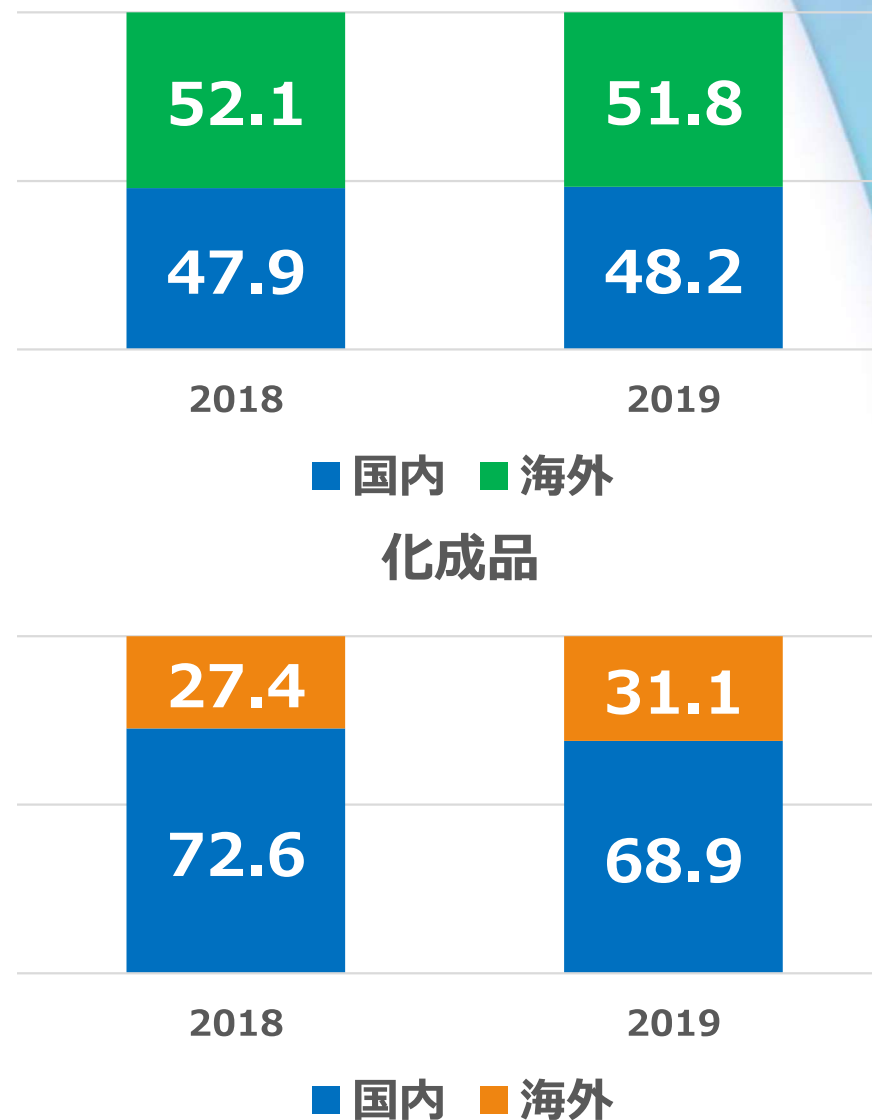
- ✓ アクシーブは米国で堅調に推移、アルゼンチン、オーストラリアで増加
- ✓ 国内事業は前年を上回る
- ✓ 販売費及び一般管理費の期ずれにより営業利益は大幅増

国内外売上高比率

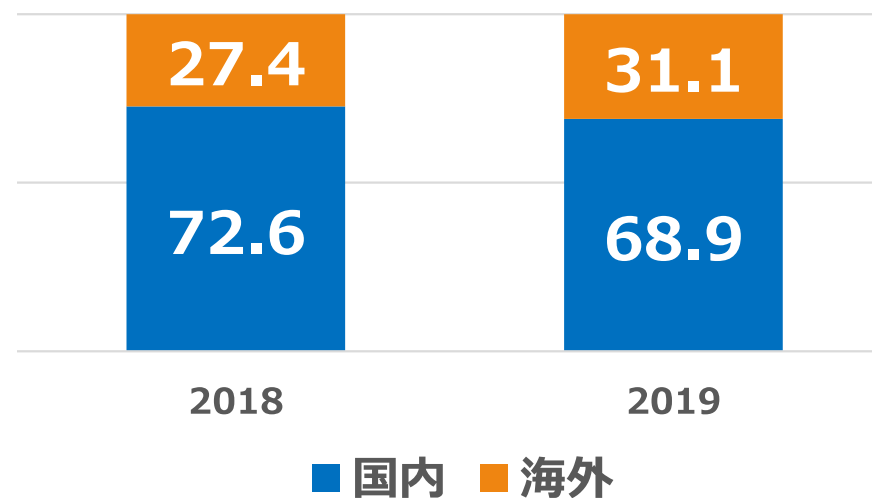
連結売上高



農薬及び農業関連



化粧品

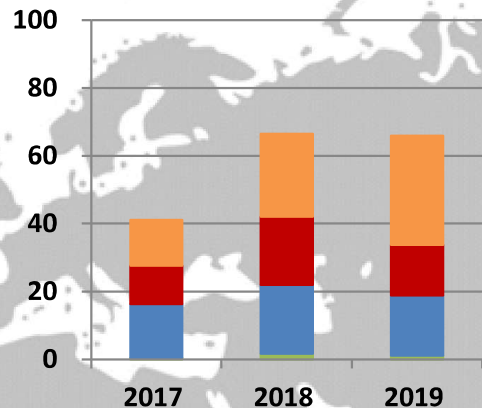




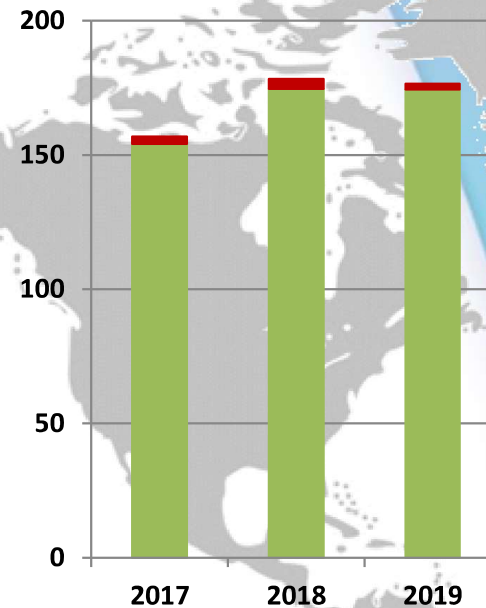
海外地域別・種類別売上高 (農薬及び農業関連)

(億円)

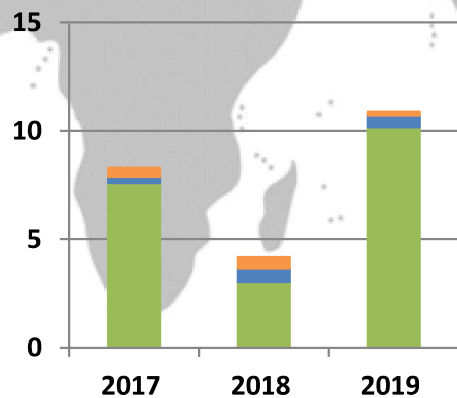
欧州



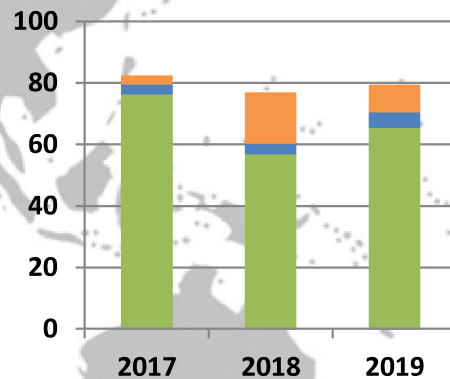
北米



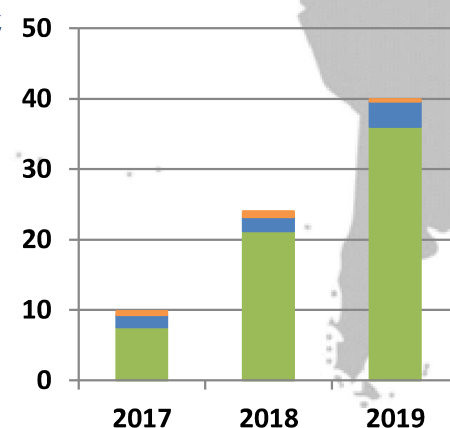
中近東・アフリカ



アジア・オセアニア (国内除く)



南米



■ 除草剤 ■ 殺菌剤 ■ 植物成長調整剤 ■ その他

- I. 市場環境
- II. 2019年10月期 実績
- III. 2020年10月期 業績予想**
- IV. 中期経営計画について
- V. 今後の成長戦略
- VI. その他の取り組み

2020年10月期 連結業績予想

(億円)	2019 実績	2020 予想	増減額	増減率
売上高	1,034	1,130	+96	+9%
営業利益	76	80	+4	+5%
経常利益	97	98	+0	+1%
当期純利益*	68	68	+0	+0%

*親会社株主に帰属する当期純利益

2020年10月期 連結業績予想

売上高 1,130億円 (+96億円)

▶ 農薬及び農業関連 (+76億円)

アクシーブ剤、エフィーダ剤、ベンスルフロンメチル剤
PIクミアイプライベートリミテッドでのノミニー合併事業

▶ 化成品 (+20億円)

イハラニッケイ及びイハラニッケイケミカルタイランドでの塩素化事業
ケイ・アイ化成でのビスマレイミド事業

営業利益 80億円 (+4億円)

▶ 売上総利益の増加 (+19億円)

▶ 販売費及び一般管理費の増加 (-16億円)

経常利益 98億円 (+0億円)

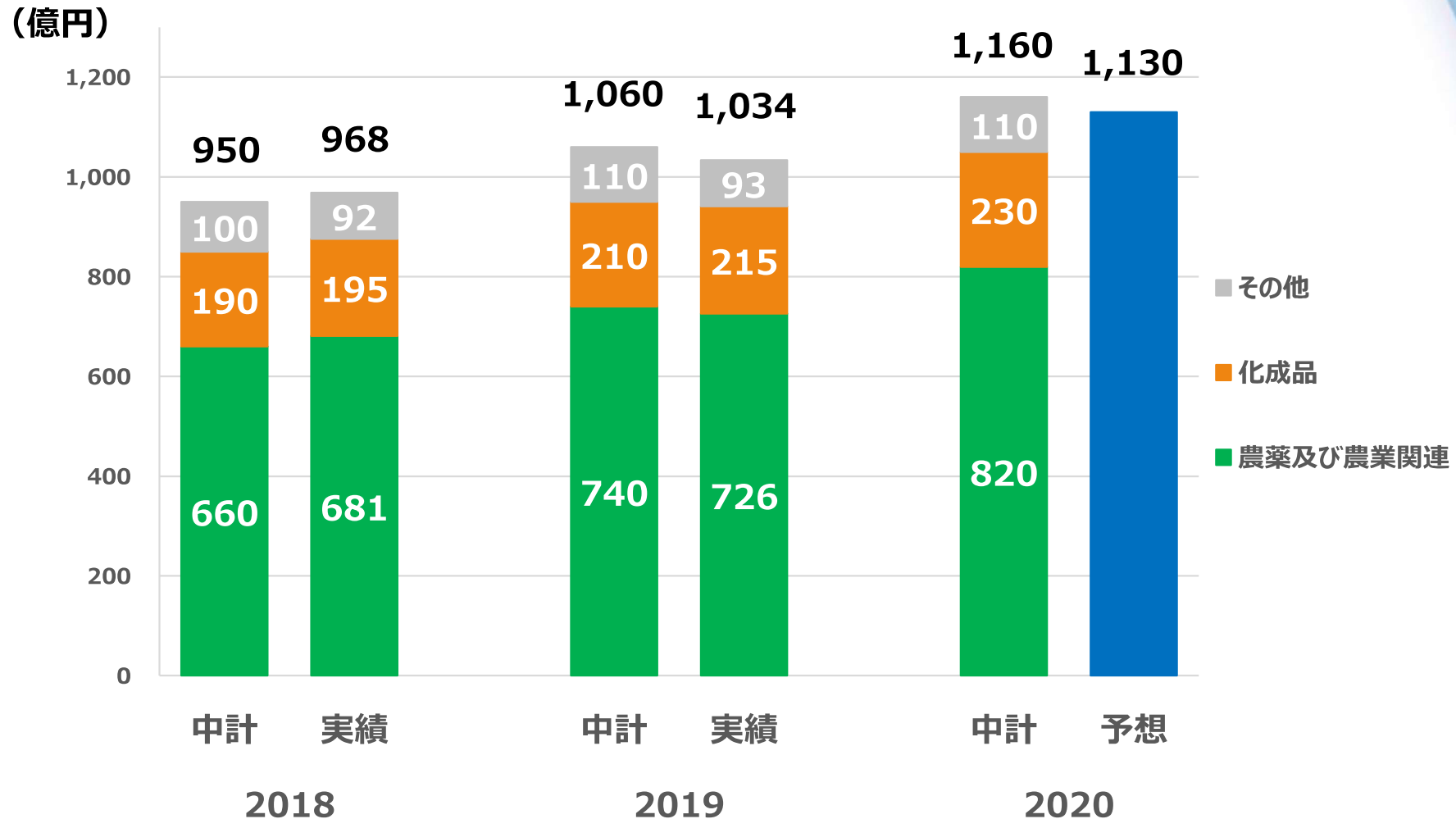
▶ 持分法投資利益、受取配当金の減少 (-5億円)

当期純利益 68億円 (+0億円)

- I. 市場環境
- II. 2019年10月期 実績
- III. 2020年10月期 業績予想
- IV. 中期経営計画について**
- V. 今後の成長戦略
- VI. その他の取り組み

中期経営計画進捗状況

売上高推移



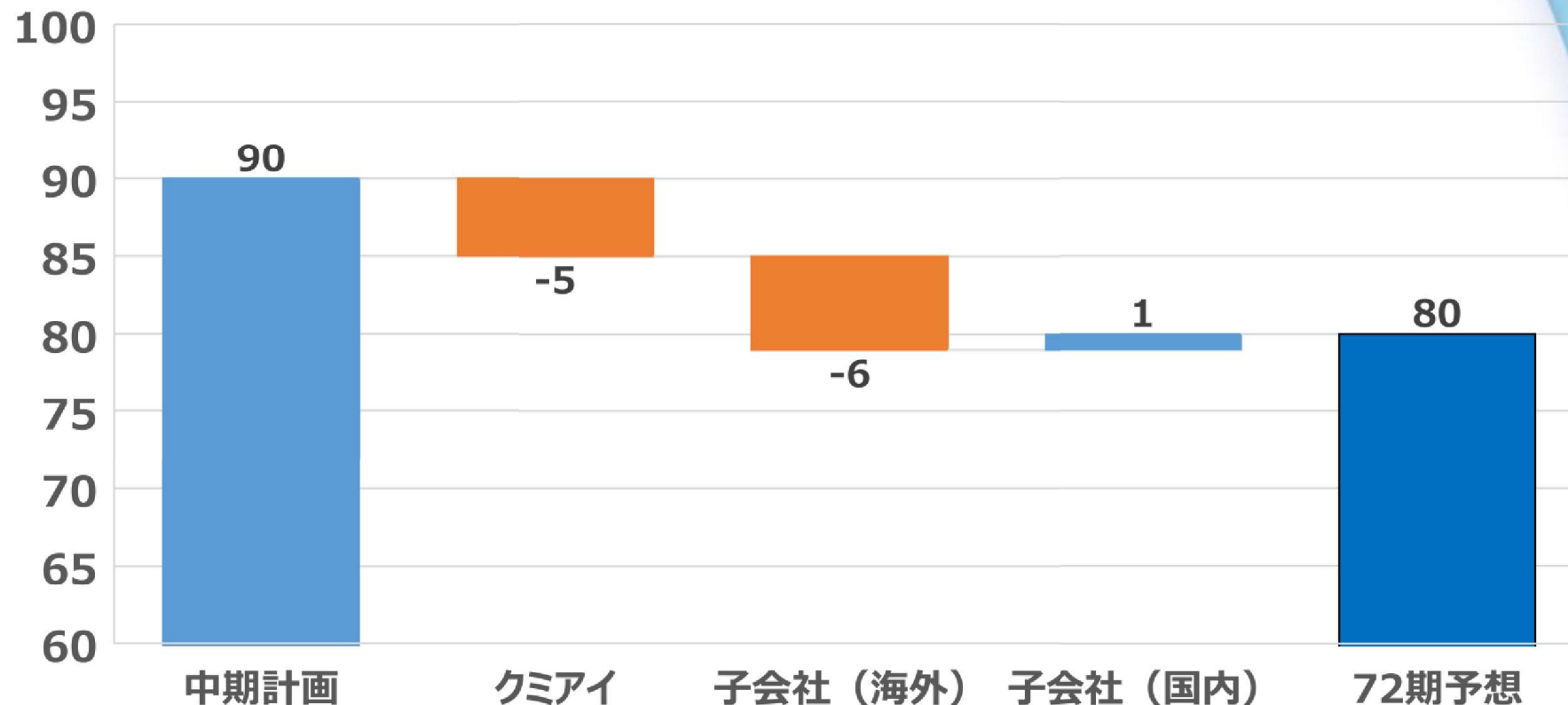
✓ 2019年10月期に連結売上高1,000億円を突破

✓ 増収増益を継続、事業環境の変化等もあり中計予算には未達予想

中期経営計画—今期予想比較

営業利益差異

(億円)



- ✓ アクシーブ好調だが国内製品切替の影響や海外高利益品目の減少による全体的な製品ミックスの変化
- ✓ インドでのノミニー合併事業立ち上げの遅れ
- ✓ 化成品事業は堅調に推移

- I. 市場環境
- II. 2019年10月期 実績
- III. 2020年10月期 業績予想
- IV. 中期経営計画について
- V. 今後の成長戦略**
- VI. その他の取り組み

成長戦略（農薬及び農業関連事業）

利益構造の改善

原価低減の推進

- ▶ スケールメリット、工程最適化による製造効率化
- ▶ 合成法変更など根本的な製造法改良

戦略的な製品構成の見直し

- ▶ マーケティングを基にした品目の選択と集中

市場の開拓・深耕

新剤・新製品の開発

- ▶ パイプライン原体の上市に向けた開発促進
- ▶ 新製品開発及び戦略的導出による
自社原体の最大化
- ▶ 原体ポートフォリオ拡充による市場開拓

グローバル展開の加速

- ▶ 有望市場へのアプローチ強化
- ▶ 自社原体の活用による新たな市場の開拓

グループ体制の強化

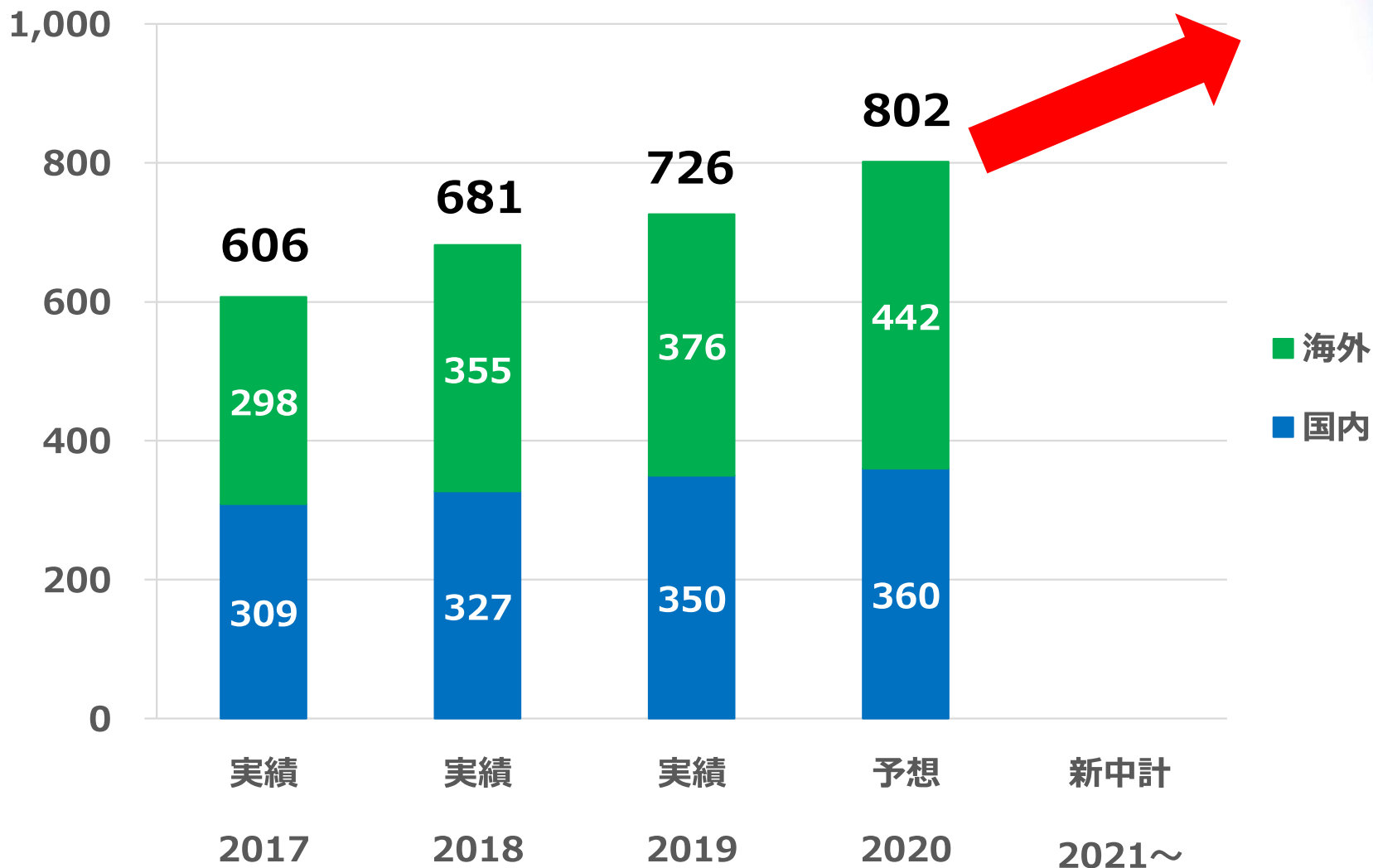
グループ事業の最適化

理研グリーンの完全子会社化による非農耕地分野の強化

成長戦略（農薬及び農業関連事業）

売上高推移

(億円)

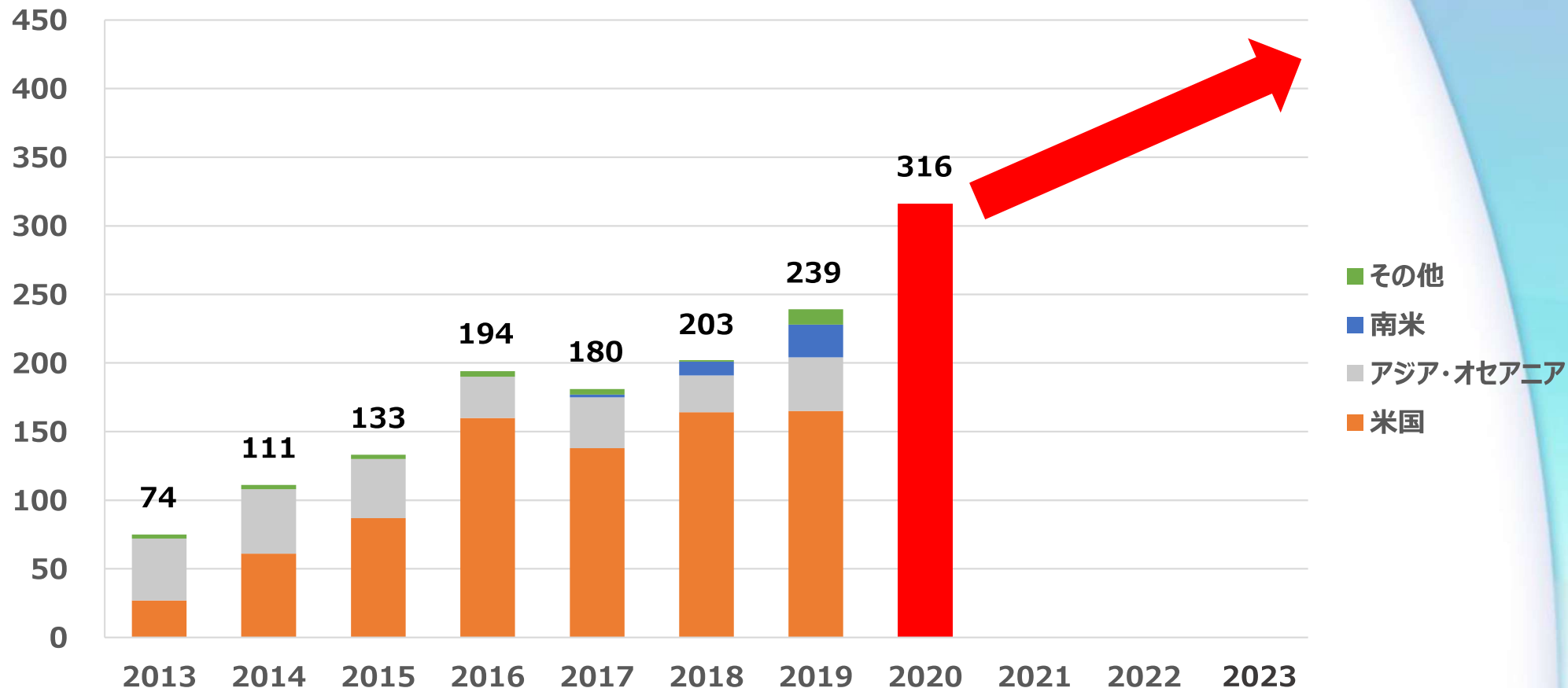




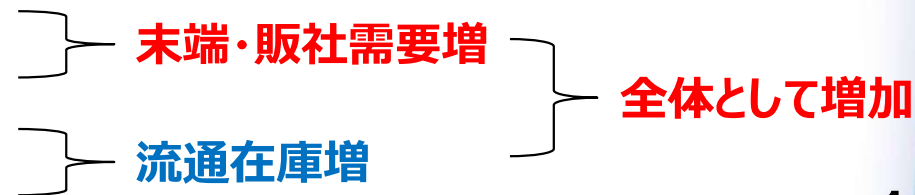
アクシーブについて

売上高推移

(億円)



- ✓ 末端使用量は順調に増加
- ✓ 2020年、2021年に北米で新規混合剤上市を予定
- ✓ 米国中西部地域の天候不順による使用量の減少
- ✓ 米中貿易摩擦の影響による作付け面積の減少



ノミニーについて

PIクミアイプライベートリミテッド



✓ 2019年9月に登録、ライセンスの取得が完了し、製造を開始



価格競争力の強化によるシェアの維持
潜在市場の開拓（農薬未使用地の開拓）による販売量の拡大

エフィーダについて



エフィーダ剤のラインナップ拡大

既存の3剤に加え、新たに混合剤3製品の登録を取得、2020年度販売開始

剤名	特徴
ベツカク	ワイドスペック自社開発3成分混合剤
プライオリティ	特別栽培米に対応、2成分高性能剤
ツイゲキ	湛水状態散布できる高性能中・後期剤

✓ 2020年以降も、マーケティングに基づき、地域・場面に合わせた新製品を開発

エフィーダ剤の最大化に向けた取り組み

- ▶ 他社への原体販売
 - ✓ 他社製品の混合母剤としての利用で「エフィーダ剤」としてのシェアを拡大
- ▶ 海外市場
 - ✓ ヨーロッパ向け（小麦、米）の開発推進

スマート農業への取り組み

自社独自製剤「豆つぶ剤」を活用したスマート農業への取り組み

豆つぶ剤の特長

- ✓ 軽量、拡散性に優れる
- ✓ ドリフト（飛散）が少ない（作業中・圃場外への暴露が少ない）
→ ドローンなどを用いた省力散布と高相性

農業用ドローン

ナイルワークス社
自動操縦自動散布による省力化、生育診断による栽培管理など

エンルート社、DJI社
ドローンと豆つぶ剤散布機の組み合わせによる農作業省力化



スーパーボート

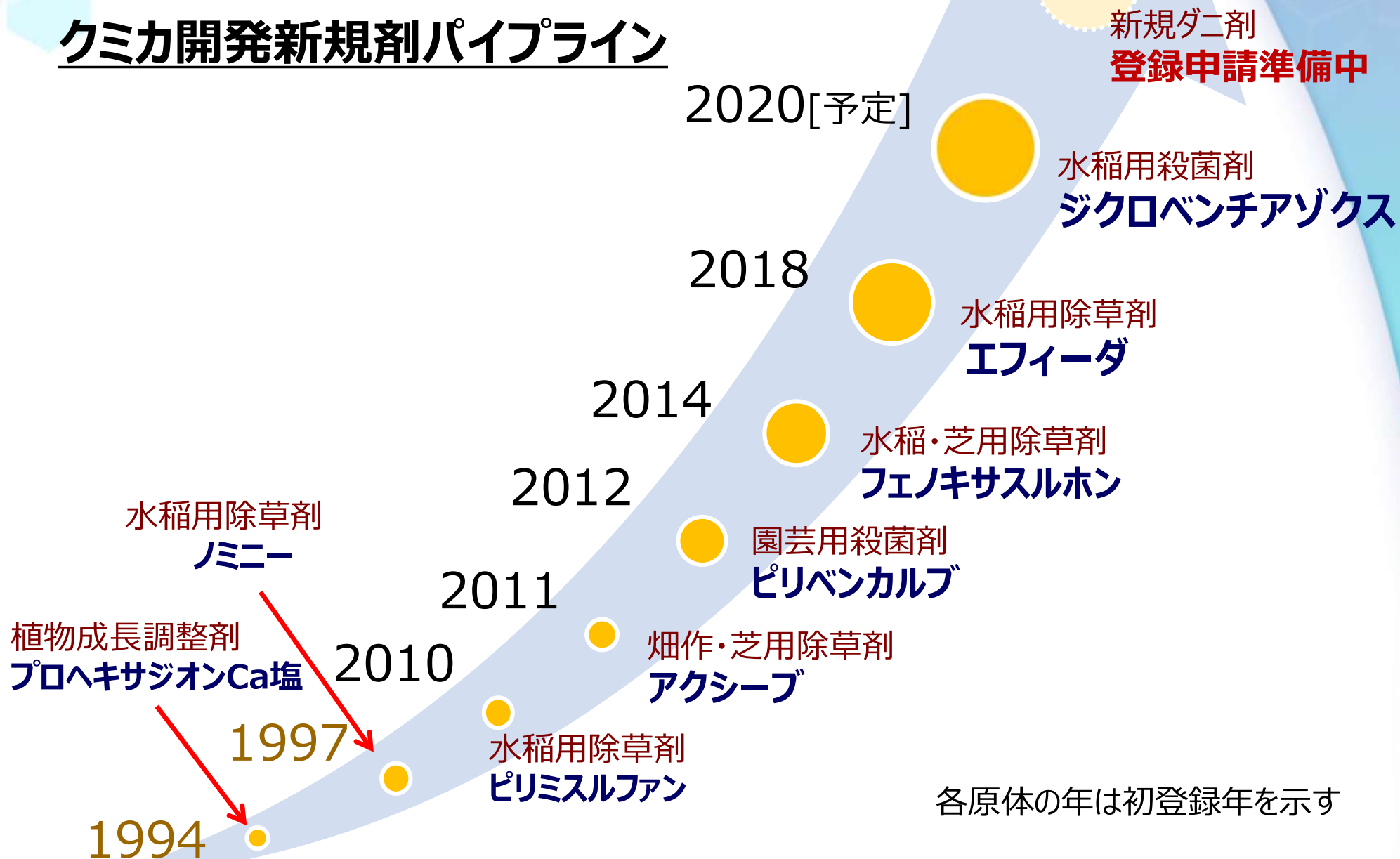
散布装置を搭載したボートと豆つぶ剤の組み合わせによる省力化
ドローンに比べ安価で導入しやすい





自社開発新規剤の推進

クミカ開発新規剤パイプライン

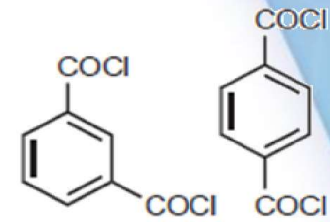


各原体の年は初登録年を示す

成長戦略（化成品事業）

塩素化事業

- ✓ イハラニッケイケミカルタイランドの2期投資
2021年中に新品目（TPC）の生産・販売開始を予定

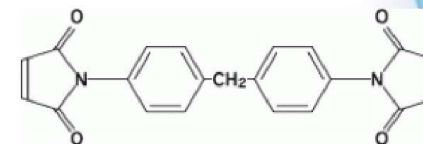


IPC

TPC

精密化学品事業

- ✓ 好調な高機能性樹脂原料（ビスマレイミド類）の推進



ビスマレイミド

発泡スチロール事業

- ✓ 品質・生産性の向上に向けた設備更新

産業薬品事業

- ✓ 環境衛生剤・医療用殺菌剤の開発と製造・販売の推進

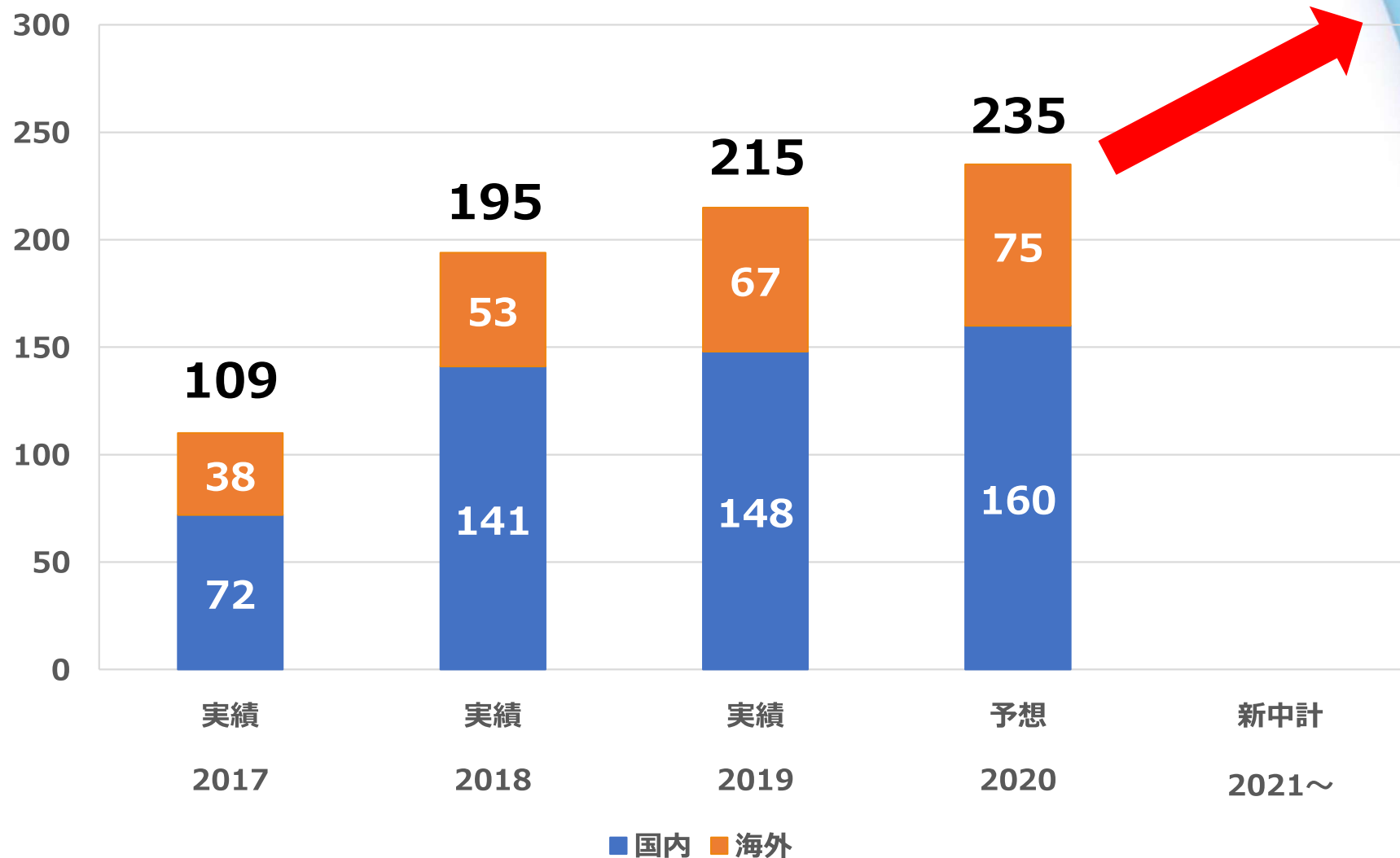
これまで培ってきた独自技術に基づいた事業展開の推進

- ✓ 農薬事業で培った有機合成技術
- ✓ 国内唯一の塩素化技術
- ✓ グローバルな調達拠点網による安価安定生産

成長戦略（化成品事業）

売上高推移

(億円)



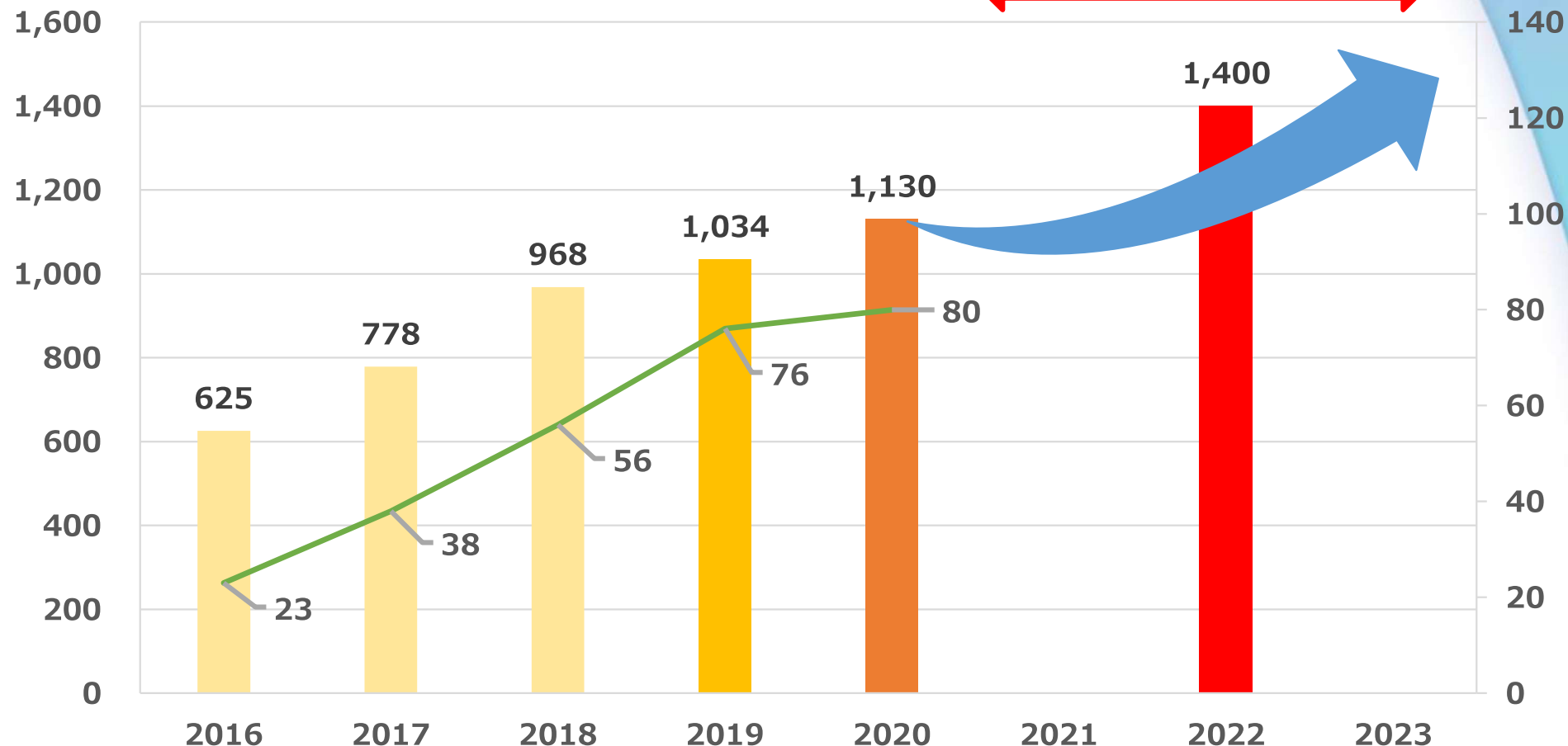


新中期経営計画に向けて

売上高(億円)

新中期経営計画

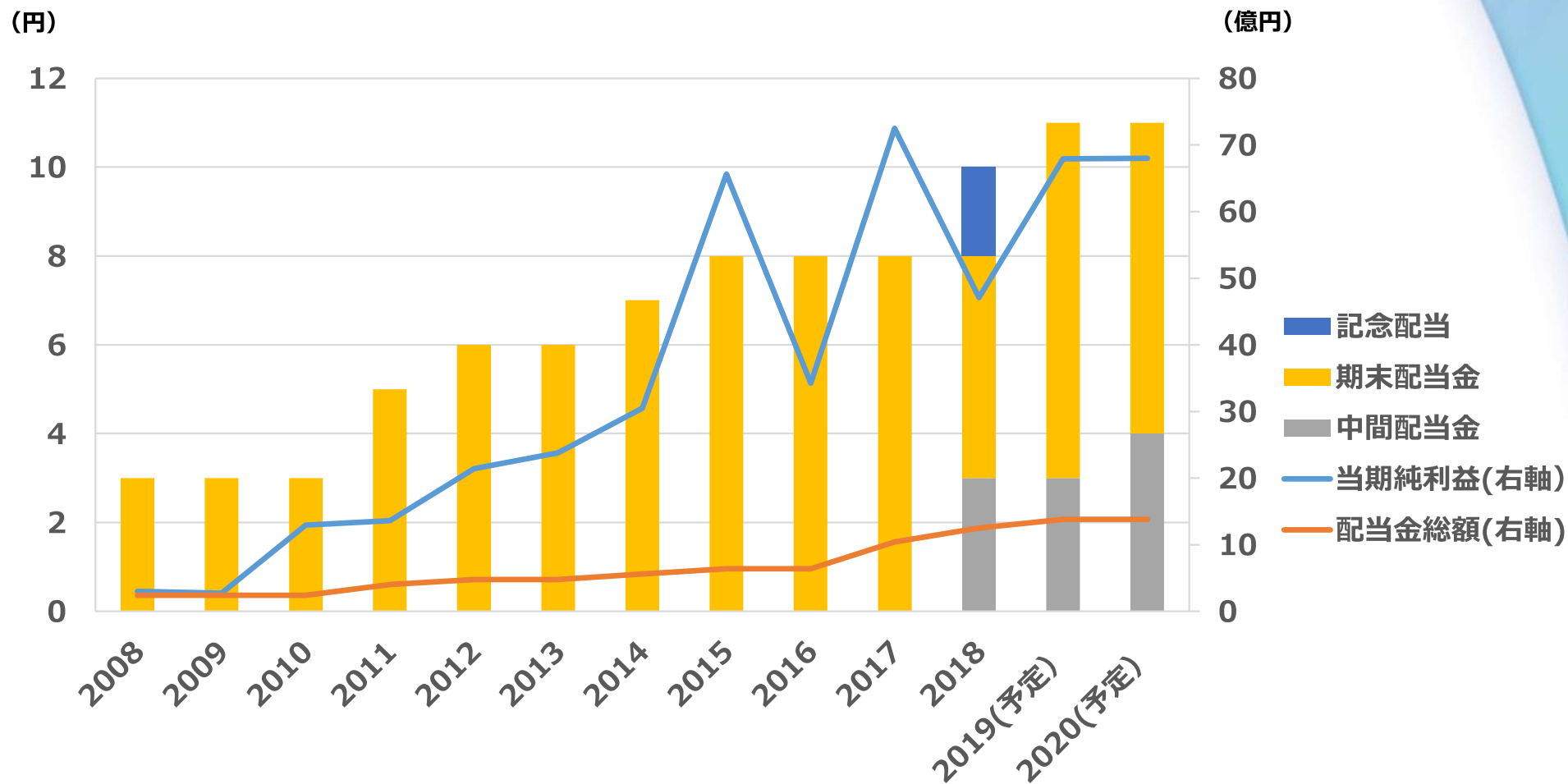
営業利益(億円)
(折れ線)



- ✓ 農薬及び農業関連事業：堅実な国内販売、海外市場でのさらなる成長
- ✓ 化成品事業：強みを最大限に活用した高成長事業の強化・推進
- ✓ 中長期的な成長に向けた非連続的施策（M&A、剤の買収等）

株主還元施策

配当金推移



- ✓ 3円の間配当を実施
- ✓ 8円の期末配当を予定

- I. 市場環境
- II. 2019年10月期 実績
- III. 2020年10月期 業績予想
- IV. 中期経営計画について
- V. 今後の成長戦略
- VI. その他の取り組み**

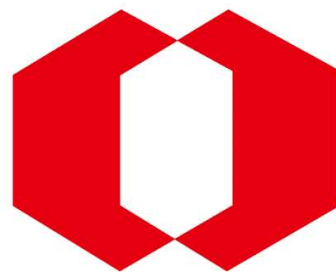
その他の取り組み

- ▶ **CSR基本方針の策定**
「企業理念の下、研究開発型企业としての特徴を活かして、
中期経営計画に則り重要課題に取り組む」
- ▶ **SDGsへの取り組み（事業を通じた取り組み）**
SDGs活動概念図の作成
農薬による技術革新、CSR活動
- ▶ **働き方改革への取り組み**
ワークライフバランスの実現、ダイバーシティの推進
業務効率の改善（基幹業務システムの導入）
- ▶ **コーポレートガバナンス強化への取り組み**
政策保有株式に対する基本方針
グループ企業価値向上に向けた取り組み



ご清聴ありがとうございました。

自然に学び 自然を守る



クミカ



クミアイ化学 S D G s 活動の全体像

企業理念

私たちは創造する科学を通じて
「いのちと自然を守り育てる」ことをメインテーマとし、
安全・安心で豊かな社会の実現に貢献します。

CSR基本方針・中期経営計画（経営基本方針、経営数値目標）

SDG s 活動概念

攻めのCSR

「本業を通じた社会問題の解決」
農薬及び農業関連事業
農業のイノベーションにつながる
化成品事業
生活の安全・安心を支える

ステークホルダー
との
パートナーシップ

守りのCSR

コンプライアンス・リスクマネジメント
社会への責任と社会からの信頼
人材マネジメント
従業員が仕事を通じて自己実現
できる経営基盤

SDGsへの取り組み

クマイ化学が事業を通じて解決してきた社会課題

農薬による技術革新



- ▶ ノミニーによるインドでの農業革新と農家の経済性向上
- ▶ 独自製剤「豆つぶ剤」により環境配慮と散布利便性向上を両立
- ▶ グラスショットの開発による「抑草剤」という新しい概念の創出
- ▶ 微生物農薬による生態系サービスの保全、調整サービスへの寄与

事業を通じたその他の取り組み



- ▶ 農業を題材とした学生懸賞論文での農業分野の教育促進
(通算8回目)
- ▶ 自社育成苗を用いた植樹活動による宮城県海岸林再生活動

働き方改革への取り組み

ワークライフバランスの実現

- ▶ 適切な労働時間の管理
- ▶ 総労働時間の削減
- ▶ 自由度を持った働き方の推進（時差出勤制度の導入）



ダイバーシティの推進

- ▶ 女性、障害者、高齢者、外国籍就労者の活躍推進



業務効率の改善

- ▶ 基幹業務システムの導入（2020年11月予定）

全社員を対象とした「従業員幸福度調査」を実施

✓ 一般製造業平均に比較して高い満足度

コーポレートガバナンス強化への取り組み

政策保有株式に対する基本方針

保有に関する妥当性が認められない銘柄については、段階的に縮減することを基本方針とする



前期、前々期に縮減を実施

グループ企業価値向上に向けた施策の推進

- ▶ 理研グリーンの完全子会社化
- ▶ グループ社員へのCSR報告書・規倫読本の配布
※規倫読本：規則、倫理を示したクミアイ化学
グループのコンプライアンス小冊子
- ▶ グループロゴ作成

本資料に記載されている業績予想および将来の予想などに関する記述は、資料作成時点で入手された情報に基づき、弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんこと、ご承知おきください。

弊社および弊社関連会社以外に関する情報は、公知の情報に依拠しており、情報の正確性などについて保証するものではありません。

<お問い合わせ先>

クミアイ化学工業株式会社

経営管理本部 総務人事部 広報・IR課

TEL: 03-3822-5036

FAX: 03-3823-6830

弊社IRサイトもご覧ください <http://ir.kumiai-chem.co.jp/>